



丸善出版 加藤尚武先生特集 《応用倫理学・環境倫理学分野》

「応用倫理学」とは、生命科学、医療、公共政策、経済行為、マス・メディアなど広い範囲の問題を分析し、倫理的にどう基礎づけるかを具体的に探求する学問です。「環境倫理学」は、応用倫理学の一分野で、地球規模の環境破壊をいかに防止するかを検討し、環境の持続可能性を探ります。応用倫理学、環境倫理学では日本におけるパイオニア的存在である、加藤尚武先生の丸善における著作をこのたび電子化いたしました。

応用倫理学のすすめ (丸善ライブラリー)	冊子版ISBN	9784621051252	同時 1アクセス (本体)	¥3,000
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	1994年6月	電子発行	2019年8月
「他人に迷惑をかけない限り何をしてもいい権利」(自己決定権)によって個人の権利が守られている。しかしポルノグラフィ、代理母、自殺等に関して、個人が他人に迷惑をかけないとしても、社会の側が干渉したり、個人の自己決定権を制限してくるのは何故か。また、親が子どもを守るということは、子どもの自己決定権を認めることか否か。新しい学問領域である「応用倫理学」がそれらの問いに解法を提示する。				
現代を読み解く倫理学 —応用倫理学のすすめ 2— (丸善ライブラリー)	冊子版ISBN	9784621072332	同時 1アクセス (本体)	¥3,000
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	1996年6月	電子発行	2019年10月
どのような合意が働いているか。どのような合意なら安全か。どのような合意が最善であるか国民の合意形成の方法論を提供する学問、それが「応用倫理学」である。本書では、いじめ、インフォームド・コンセント、オフレコ発言、TBS問題、ワイセツ基準、オウム真理教、ボランティア、阪神大震災、環境問題、遺伝子診断、PKO等々を取り上げ、この学問によって得られた明快な解法を読者に提示する。				
合意形成とルールの倫理学 —応用倫理学のすすめ 3— (丸善ライブラリー)	冊子版ISBN	9784621053607	同時 1アクセス (本体)	¥1,640
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	2002年11月	電子発行	2010年12月
現代社会の様々な問題解決のために、我々は、いかに合意を形成させ、ルール作りを行い、そして正義を確立させればいいのか？それら問題解決への最も有効な手段、それが応用倫理学である。本書では、生命操作の行方、環境問題解決のための合意、刑罰・罰則のあり方等々、近年世間を騒がした社会問題を俎上にのせ、応用倫理学の視点から、明快な問題解決へのヴィジョンを提示する。				
環境倫理学のすすめ (丸善ライブラリー)	冊子版ISBN	9784621070345	同時 1アクセス (本体)	¥6,300
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	1991年12月	電子発行	2010年12月
地球環境での環境破壊がクローズアップされている現代社会。70年代、アメリカを中心として形成された環境倫理学から、われわれは何を学び取らなければならないのか。環境倫理学の3つの基本主張を紹介し、対応を迫られている環境問題への対処方法を具体的に提言する。				
新・環境倫理学のすすめ (丸善ライブラリー)	冊子版ISBN	9784621053737	同時 1アクセス (本体)	¥44,000
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	2005年8月	電子発行	2019年10月
京都議定書のような国際協力体制が生まれることを同世代人に向かって期待しながら書いた前著と、京都議定書が誕生すると同時に傷だらけになっている現状で書いた本書との間には、気分的に大きな違いがある。さらに深刻になる環境問題に直面する若い世代に向けて、重い課題を投げ出さずに引き受けてほしいと願う気持ちで執筆したのが本書である。「環境倫理学」の第一人者が、一四年ぶりに書き下ろした、待望の続編。				

加藤尚武先生特集 《応用倫理学・環境倫理学分野》

資源クライシス —だれがその持続可能性を維持するのか?—	冊子版ISBN	9784621079935	同時 1アクセス (本体)	¥5,300
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	2008年6月	電子発行	2019年11月予定
石油・金属・食糧が連動して値上がりを始めた。投機的要因、環境要因、資源枯渇要因が挙げられるが、同時に、温暖化対策における国際協調の方向が、資源獲得のためのナショナリズムと、資源を売る立場のナショナリズムの攻めぎ合いによって乱されている。本書では資源枯渇について、技術的な対処の方向づけと限界を明らかにし「産業社会の持続可能性の究極の条件は何か」を考え、その究極の可能性から逆算して、現代の戦略を具体的に明らかにする資源環境論。				
応用倫理学事典	冊子版ISBN	9784621079225	同時 1アクセス (本体)	¥44,000
著者 加藤 尚武 編集代表	冊子発行	2007年12月	電子発行	2012年7月
「応用倫理学」の全貌が見渡せる、この分野初の中項目事典。わが国の「応用倫理学」各分野で活躍中の研究者総勢200名が執筆に参加。様々な身の回りのキーワードについて、哲学的・倫理学的概念を援用しながら具体的に考察する。収録する中項目見出し語数は約350。巻末索引の収録語数は約3000語で、それぞれの用語に対応する英語も併記。				
合意形成の倫理学 (現代社会の倫理を考える16)	冊子版ISBN	9784621080696	同時 1アクセス (本体)	¥6,300
著者 加藤 尚武 著	冊子発行	2009年3月	電子発行	2019年8月
現代社会の様々な問題解決のために、我々はいかに合意とルールを形成させ、そして正義を確立させればいいのか—そのための最も有効な手段、それが応用倫理学である。本書では生命操作の行方、環境問題解決のための合意、刑罰・罰則のあり方など、近年世間を騒がした社会問題を俎上にのせ、応用倫理学の視点から明快なヴィジョンを提示する。				

「現代社会の倫理を考える」シリーズ

監修 加藤尚武
立花 隆

社会の価値観が大きく変動した2000年代前半、日常生活のさまざまな領域における現代社会の倫理学について、当該一流の専門家による執筆により「現代社会の倫理を考える」シリーズとして刊行したものです。本シリーズの詳細につきましては、資料をご請求ください。

巻数	タイトル	同時1アクセス (本体)	巻数	タイトル	同時1アクセス (本体)
1	看護の倫理学 第2版	¥4,180	10	現代人の倫理学	¥4,200
2	生命と医療の倫理学 第2版	¥4,400	11	環境の倫理学	¥6,300
4	公共政策の倫理学	¥7,000	12	性の倫理学	¥6,300
5	職業の倫理学	¥6,300	13	技術の倫理学	¥6,300
6	科学の倫理学	¥4,200	14	家族の倫理学	¥6,300
7	教育の倫理学	¥6,300	15	情報の倫理学	¥4,180
8	経済の倫理学	¥6,300	16	合意形成の倫理学	¥6,300
9	マスコミの倫理学	¥6,300			

● 表示価格は税抜きです。

2019年10月